

支所発地域力向上支援金事業実施報告書（自己評価）

令和6年2月22日

事業実施地区	篠ノ井地区
事業名	篠ノ井の歴史を次世代に継承する事業
団体名及び 代表者名	(団体名) 篠ノ井市誌編纂委員会 (代表者名) 編纂委員長 酒井 春人 (連絡先) 026-247-8288

■事業概要（選考委員会の助言を含む）

<p>地域住民からの理解及び史料収集等の協力を得て、市誌編纂につなげるため、歴史に関する定期的な講演会を開催する。</p> <p>講演会への参加を呼び掛けるため、篠ノ井地区全戸への回覧チラシ、講演会資料作成用にプリンターを購入する。</p>	【事業完了日】	令和6年2月22日
	【総事業費】	72,112円
	【補助金額】	68,000円

※活動状況や備品の表示がわかる写真・成果物等を別途添付

■事業効果（目的の達成度・地域への貢献度等について）

<p>講演会を実施していく中で、チラシの全戸回覧を継続している効果もあって知名度が上がり、出席者が増えている。広い分野の講演会を企画することで、篠ノ井の歴史に関心が高まり、文化財の保存、継承に向けての効果が高まる。</p>

※参加人数等、数値化して効果を表せるものがあれば数値化したものも加えて記載をお願いします。

■事業評価（該当欄に○）

	予定を上回る	予定どおり	概ね予定どおり	予定を下回る
事業の内容		○		
事業の効果			○	
特記事項 (評価理由等)				

■今後の取組予定

<p>次年度以降も篠ノ井地区の歴史に関する講演会を継続して実施し、史料収集への協力、市誌編纂につなげたい。</p>

第 6 回篠ノ井市誌編纂講演会

「篠ノ井市誌」編纂事業に伴う講演会を行います。
 今回は、前回に続き自然災害史の専門家山浦直人先生をお招きして、下記により講演会を開催しますので、ふるってご参加ください。

記

日時：12月21日(木) 13:30～15:00

場所：篠ノ井交流センター 多目的ホール

内容：「善光寺地震！ そのとき川中島平・西山は

(大久保薫斎記、大地震日嘉恵録、鎌原桐山資料からみる出来事) — 河川水害・土砂災害・地震災害 その2」

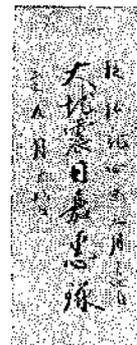
講師：山浦直人先生（長野県立歴史館名誉学芸員）

篠ノ井地区の自然災害についての2回めの講演です。

- ①篠ノ井小森の大久保薫斎は、善光寺地震の被害状況・虚空蔵山の崩壊・決壊洪水の様子を記録している。
- ②「大地震日嘉恵録」は、松代藩武士菅沼家の祖母から仏頂院大僧正に提出された本震と余震の記録である。
- ③鎌原桐山の資料は、地震と音の関係が記録されており、地震を考える貴重な資料である。



弘化大地震見聞記の付図



資料代：500円（入場は無料。どなたでも聴講できます）

主催 篠ノ井市誌編纂委員会 (TEL026-247-8288)

共催 篠ノ井歴史の会 五明史料保存会

篠ノ井まちづくり研究会

第 7 回篠ノ井市誌編纂講演会

「篠ノ井市誌」編纂事業に伴う講演会を行います。今回は、川中島幹線道路築造工事に伴う篠ノ井南条遺跡、篠ノ井佃遺跡の発掘調査報告を発掘担当の鹿田奨之先生をお招きして開催します。

記

日時：2月7日(水) 13:30～15:00

内容：「篠ノ井^{みなみじょう}南条遺跡、篠ノ井^{つくだ}佃遺跡発掘調査報告」

講師：鹿田奨之先生（長野市埋蔵文化財センター学芸員）

長野市埋蔵文化財センターでは、都市計画道路川中島幹線道路築造工事に伴い、令和3年度から篠ノ井南条遺跡、篠ノ井佃遺跡の発掘調査を継続して実施しています。調査では、9世紀から11世紀にかけての平安時代の集落跡が明らかになりました。平安時代の人々が住んだ竪穴建物跡や、集落の中で行った鍛冶の痕跡など、当時の人々の生活を垣間見ることが出来る資料が多く見つかっています。

川中島扇状地における調査事例はまだ少なく、当調査によって地域を考える上での貴重な成果を得ることが出来たといえるでしょう。

※当日は、発掘した主な出土品の展示もあります。

講師紹介：R 2 千葉大学文学部歴史学コース 考古学専攻卒業
 R 2 長野市教育委員会事務局文化財課 配属
 R 3 松代城発掘調査担当
 R 4 長野市教育委員会事務局文化財課 埋蔵文化財センター 配属
 篠ノ井南条遺跡発掘調査担当
 R 5 篠ノ井佃遺跡発掘調査担当

会 場：篠ノ井交流センター 多目的ホール

資料代：500円（どなたでも聴講できます）

問合せ：TEL090-2535-4683 酒井



支所発地域力向上支援金 事業評価(篠ノ井支所)

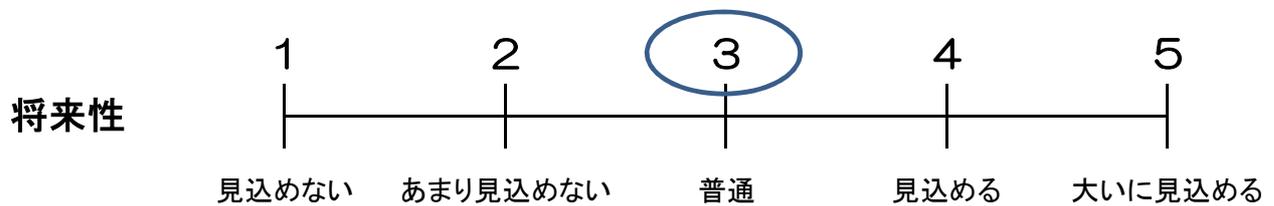
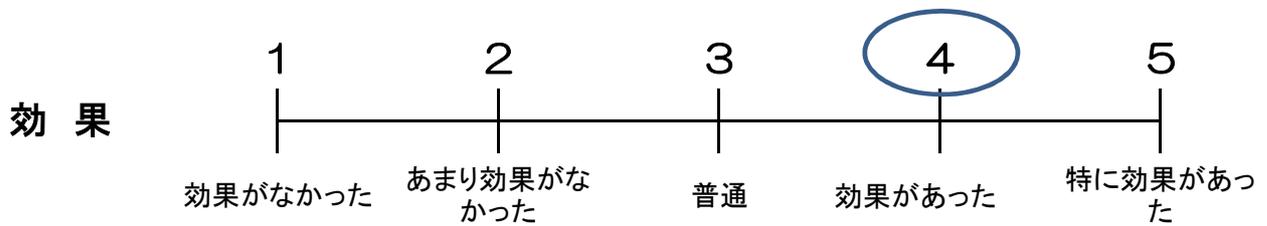
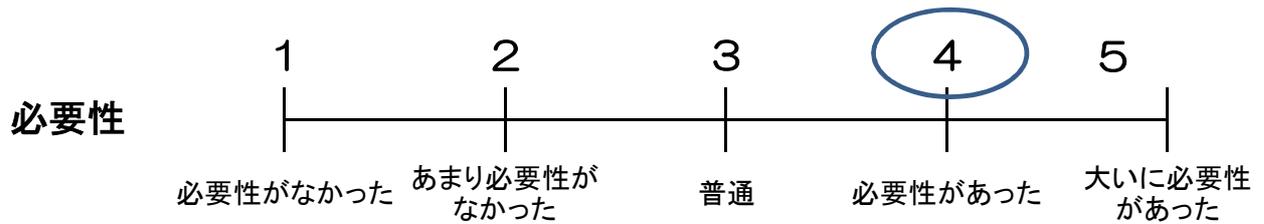
令和6年2月26日

事業名	篠ノ井の歴史を次世代に継承する事業
-----	-------------------

団体名	篠ノ井市誌編纂委員会
-----	------------

評価項目 (選考基準の視点で評価)

事業区分	教育文化活動
------	--------



支所長の総合評価 (次年度以降の活動への助言等)
講演が、身近な地域の歴史であり、興味を抱く内容であることから多くの参加者が得られ、継続して実施していることは評価できる。講演会は、貴重な史料、文化財を保護し、散逸することを防ぐことにつながり、資料収集にも協力が得られるのではないかと。
今後も、購入したプリンターを活用し、発掘調査や関係者等からの協力などで得られた情報を資料化したり、講演会の案内を作成するなどして、更なる文化財の保護、継承につながる活動になることを期待する。